



満員御礼・約千人来場

9月1日、会場となった鬼北総合公園には、開場を待ちきれない人たちの長蛇の列が。早い人は3時間以上前から並んでいたというこの日、えひめ南予いやし博2012の記念イベントとして「森と水と四万十源流コンサート」が開催されました。開場とともにどんどん埋め尽くされていく観客席。2階席も含めると、この日町内外から約千人の人がこの会場に集まりました。

個性光る3組の歌声

1組目に登場したのは、鬼北町出身の大西正浩さんも所属する4人組バンド・LIONOTE(ライオノート)。えひめ南予いやし博2012のテーマソングでもある「そらあお」などを披露し、アツプテンポな曲では音楽に合わせて観客からも手拍子が。地元出身ということもあり、地元ファンからの熱い声援が響いていました。続いて登場したのは伊予市出身の女性歌手・千桃生そら

さん。「地球に独り、冷たい河」などの自身の持ち歌だけでなく、「東京ブギウギ」などのカバーも披露し、小柄な体から発せられる力強くしつとりとした歌声から作られる独特の世界に、会場全体が引き込まれていきました。この日のトリを飾るのは、メインゲストである加藤登紀子さん。1曲目から観客席に降り、握手を交わしながら歌ってくれるというファンサービスに、観客からは驚きの声とともに大きな歓声が上がりました。

1

HOT NEWS_えひめ南予いやし博2012

森の四万十自然学校・記念イベント 森と水と四万十源流コンサート 鬼北に響く歌声、ひとときの癒しの空間

2

1_アコースティックギター片手に歌う加藤登紀子さん。この曲の前に行われたトークでも会場を湧かした 2_コンサートの最後、バックバンドを務めた2人とともに観客に手を振る加藤登紀子さん。観客からは盛大な拍手と歓声を送られた 3_会場となった鬼北総合公園に出来た開場を心待ちにする人たちの長蛇の列。開場1時間前には500人以上の人が列を作っていた 4_笑顔でパンフレットを受け取る来場者。この日を心待ちにしていた人が多く、入場時からほとんどの来場者の顔には笑顔が浮かんでいた 5_会場を埋め尽くす約1,000人の観客。会場を包む音楽の世界に酔いしれた 6_ステージから降り観客の目の前で歌う加藤登紀子さん。間近で聴くその歌声に観客もうっとり聞き入っていた 7_LIONOTE(ライオノート)のライブの一場面。メンバー全員が南予地方出身ということもあり、地元ファンから熱い声援が送られていた 8_しっとり歌い上げる千桃生そらさん。その歌声から生まれる独特の世界観に会場全体が包まれた

